令和３年度伊勢原市行財政改革推進委員会第１回会議録

〔事　務　局〕　企画部経営企画課

〔開 催 日 時〕　令和3年11月11日（木）午後3時30分から午後4時50分まで

〔開 催 場 所〕　市民文化会館　練習室２

〔出 席 委 員〕　7名
鈴　木　靖　夫（会　長）
青　柳　貞　徳（副会長）
大　川　　要
大　杉　あや子
河　原　啓　子
引　田　道　人
吉　野　　太

〔事務局職員〕　7名
山　室　好　正（企画部長）
酒　井　哲　也（企画部行政経営担当部長）
桐　生　尚　直（企画部参事兼公共施設マネジメント課長）
成　田　勝　也（企画部参事兼経営企画課長）
畠　山　純　徳（公共施設マネジメント課主幹兼係長）
山　口　博　巳（経営企画課主幹兼係長）
都　竹　新　平（経営企画課主査）

〔公 開 可 否〕　公開

〔傍 聴 者 数〕　なし

《議事の経過》

1　議題

（１）第５次行財政改革推進計画_令和２年度取組結果について

（２）公共施設等総合管理計画の改訂及び個別施設計画の策定の進め方について

（３）令和４年度以降の公の施設の指定管理者の候補者の選定について

2　その他

※質疑応答・意見等は別紙１のとおり

別紙１

１　議題

（１）第５次行財政改革推進計画_令和２年度取組結果について

	[質　問]	[回　答]
①	・「指定管理者の評価・仕様等見直し、選定（児童館）」について (1)第５次行財政改革推進計画及び公共施設等総合管理計画において、児童館については、令和 6 年度末までに廃止又は地元自治会への移管を進めるとされているが、時期的にも差し迫ってきており、具体的にどのように地元移管を進めるのか、市の方針を示してもらわないと、受け手である地元自治会も何をしてよいのかわからないと思う。市の考えを伺いたい。 (2)老朽化した施設をそのまま移管するのではなく、必要な修繕や設備のユニバーサルデザイン化等を順次行い、準備が整ったものから段階的に移管するなど、市の改修計画を示してもらいたい。そういったものがないと自治会法人化等の移管を受けるための準備に着手できない。現状では令和６年度に到底間に合わないと思うが、市はどう考えているか。	(1)地域集会所機能を有する児童館などの施設については、公共施設等総合管理計画において、地域の実情等を勘案した上で、令和６年度までに廃止又は施設の地元自治会への移管等を進めるという方針を示しており、施設所管課を通じて自治会との調整が進められている。 現在、公共施設等総合管理計画の改訂作業中であるが、地域コミュニティ施設の在り方についての整理が必要となっている。施設ごとに老朽化の状況も異なることから、個別に調整をさせていただく。 (2)施設ごとに事情が異なることから、令和６年度に足並みを揃えて移管ということは現実的に難しいと考えている。 移管に当たっての一定のルールづくりについて、検討が必要と考えている。
②	・「市営大山駐車場の管理運営体制の整理・検討」について 令和 2 年度の取組結果が C（計画どおり進捗せず）となっている。 市営大山駐車場は、現地で空き状況を確認するしかないため、満車の場合、空きが出るまで第１駐車場と第２駐車場を行き来する車もあると聞いている。空き状況を示す表示看板を整備してはどうかと、色々な場で市に提案しているが、実現されていない。他市の観光地などでは多く導入されている。利用者の利便性をどのように向上させていくのか。	市営大山駐車場について、公共施設等総合管理計画の改訂作業の中で、所管課と調整している。 コロナ禍で密を避けるためにバスではなくマイカーで来訪する方も増えており、環境面や利便性の面など、幅広い視点で検討を進めていくことが必要と考えている。 駐車場の空き状況を示す表示看板の整備については、商工観光課に確認させていただく。
③	・「職員提案制度の活用」について 達成状況が、計画当初の平成３０年度からずっと「C」（計画どおり進捗せず）である。もっと積極的な活用は図れ	職員提案の件数については例年 20 件～40 件程度であり、一定の活用が図られているところであるが、第５次行財政改革

	ないのか。また、優れた提案は公表してはどうか。	推進計画の成果指標は提案数そのものではなく、提案によって改善された件数であり、提案内容にも依存するところであるため、取組結果としては「C」が続いている。なお、ほう賞対象となった提案については、市ホームページで公表している。

［意　見］

・「市営大山駐車場の管理運営体制の整理・検討」について
観光シーズンの大山では、駐車場が不足するために毎回渋滞している。このままでは一度来た観光客がまた来たいと思えないのではないか。早急に対策を講じてほしい。
・「職員提案制度の活用」について
他自治体や民間企業に職員を積極的に研修派遣するなどして、人材育成を進めてほしい。外部環境に身を置くことで新たな発想に繋がり、積極的な提案にも繋がると思う。交流職員の数を指標とした取組を計上するなど検討してもらいたい。
・「企業立地の推進」について
市の魅力を更に積極的に PR して、民間活力を最大限に活用してほしい。

（２）公共施設等総合管理計画の改訂及び個別施設計画の策定の進め方について

	［質　問］	［回　答］
①	全体的に老朽化が課題となっている公共施設についての市の方針として公共施設等総合管理計画の改訂内容がまとまらないと、次期総合計画の策定ができないのではないか。	現在、令和 5 年度を始期とする次期総合計画の策定作業を進めているところであり、公共施設等総合管理計画の内容も把握しながら内容を精査していく。
②	公共施設等総合管理計画の改訂作業はどのような状況か。	施設の安全性等のハード面の視点と必要性等のソフト面の視点の両方から施設評価を行っており、現在は、施設・機能の実態を整理するために施設所管課のヒアリングを進めている。その結果を受けて来年度当初を目途に改訂の素案をまとめ、その後、ワークショップを開催するなどして住民意見を聞いていく予定である。

［意　見］

・公共施設は住民のためものという原点に立ち返って住民参加型で議論を進め、市が置かれている状況を理解してもらいながら、限りある財源の中で優先順位をつけて進めていただきたい。

（３）令和４年度以降の公の施設の指定管理者の候補者の選定について

［意　見］

・指定管理者を導入したことで、逆に市民サービスが下がることが無いようにしていただきたい。指定管理者は定期的に利用者の声を吸い上げるために意見交換の場を用意し、その結果を市に情報提供するなどして、サービス向上に努めていただきたい。
・施設の状況や、利用者数、稼働率など施設ごとの客観的な評価が見えるような資料の構成を検討してほしい。

以　上